

第11課 比較(2) いろいろな選択

比較(2) いろいろな選択

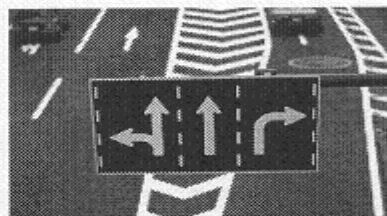


人生にはいろいろな選択の場面がある。将来を決めるような重大な選択からちょっとした選択まで様々だ。同じ選択でも、真剣に悩んでしまう人もいれば、簡単に決めてしまう人もいる。うれしい選択もあれば、つらい選択もある。

例えば、レストランで食事をしたあとのデザートについて考えてみよう。ケーキとアイスクリームのどちらか一方に決めなければならなかったらどうするだろう。どちらでも構わない人にとっては何でもない選択だが、甘いものには目がない人にとっては、うれしいけれど悩んでしまう選択だ。しかし、これは悩みというより、むしろ楽しみなのかもしれない。

それと反対の場合もある。夏休みになると学校からいろいろな宿題が出る。例えば「夏休み中に本を2冊読んで感想文を書くか、毎日日記を書きなさい」と言われたらどうするか。作文が好きな子にとっては何でもない選択だが、作文が嫌いな子にとってはこれほどつらい選択はない。もし本を読むのも嫌いだったら、毎日日記を書くほうが、読書感想文よりはましだと考えるだろう。

ところで、いろいろな選択があると、かえって困ってしまうものだ。どれにするか迷ってしまって、自分で決められなくなったらどうするか。私が子供のころは、選ぶものを並べて、「どれにしようかな。神様と天神様の言うとおりに」と言って決めたものだ。最後の「り」の時に指したものにするのだ。大人になってからもこんなやり方ですべてうまくいったらしいのだが。ときどきそう思うことがある。



選択

重大

悩む

デザート

一方

何でもない

目がない

悩み むしろ

感想文

子

読書

まし

かえって

迷う

神様 天神様

すべて

第11課 比較(2) いろいろな選択

■ 本文設問

- (1) 「うれしい選択」というのはどんな場合ですか。
 (2) 「つらい選択」というのはどんな場合ですか。
 (3) 作文が嫌いな子の中で、「日記」の宿題を選ぶのは、どんな子ですか。
 ◇ 筆者は今でも「重大な選択」について、『どれにしようかな・・・』と言っ
 て決めているでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：デザート (どちらか) 一方 ^{いっぽう} 悩み ^{なや} 感想文 ^{かんそうぶん} 子 ^こ 神様 ^{かみさま} 天神様 ^{てんじんさま}
な形容詞	：重大 ^{じゅうだい} ★まし
い形容詞	：何でも ^{なん} ない
名詞／動詞Ⅲ	：選択(する) ^{せんたく} 読書(する) ^{どくしょ}
動詞	：悩む(→悩み) ^{なや} 迷う ^{まよ}
副詞	：★むしろ ★かえって すべて
その他	：(～に)目 ^め がない

[基本動詞の用法]

- ・(宿題が)出る

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 指す* 迷う 悩む 何でもない 重大 全て 】 * 印は既習

- (1) きょう校長先生から()発表があるらしい。
 (2) 自分の()を話せる友達がいると有難い。
 (3) 矢印は右を()いたけど、そちらの方には道はなかった。
 (4) A「どうかしましたか」
 B「いいえ、()です」
 (5) これで1年間の()の授業が終わりました。
 (6) 道に()しまって、1時間も同じところを行ったり来たりしてい
 た。

第 1 1 課 比較(2) いろいろな選択

■ 文型・表現

「比較」の文型・表現(2)

(1) 『まし』

- 1) AのほうがBよりましだ (※AもBもよくないが、二つを比べればAのほうがいい)
Aも・・・けれど、Bよりましだ

1. 物理も生物もあまりできませんが、物理のほうが生物よりましです。
2. お酒も飲みすぎると体によくはないけど、たばこよりはましだと思う。
注)慣用表現で「何もないよりましだ／何も～よりましだ」もある。
3. この自転車はかなり古いけど、何もないよりはましだ。
4. このアルバイトは時給があまり良くないけれど、何もしないで遊んでいるよりましだ。

注)『まだ』を入れると「Bは悪すぎる／ひどすぎる」という気持ちが強調される。

5. いまの上司は好きじゃないけど、前の上司よりはまだましだ。
6. このレストランの料理は高いのに全然おいしくない。
これなら自分で作った料理のほうがまだましだ。

2) Bするくらいなら、Aしたほうがましだ

(※極端な例<A>を出して、「本当にBはしたくない」という気持ちを強調する)

1. あの人と一緒に仕事するくらいなら、会社を辞めたほうがましだ。
2. そんなことにお金を使うくらいなら、捨てたほうがましだ。
3. そんなことをするくらいなら、死んだほうがまだましだ。

(2) Aほど～<名詞>は(ほかには)ない → ★L1「～ほど・・・ない」

(※「Aが一番～」と同じ意味になる)

1. 東京ほど物価が高い都市は(ほかには)ない。
2. この町ほどいろいろな外国人が集まっているところはない。
3. 西田さんほど熱心に仕事をする社員はいない。注)「人」の場合は「いない」
4. チョウさんほどまじめに勉強する学生は見たことがない。
5. ギャンブルで給料を全部使ってしまうなんて、これほどばからしいことはない。

第11課 比較(2) いろいろな選択

(3) XはAというより(も)、むしろB (※Xの説明としてAよりBのほうが適当だ)

1. あの子はきれいというより、むしろかわいいと言ったほうがいい。
2. あの人とは先輩、後輩の関係というよりも、むしろ親友のような関係だ。
3. これだけ大きいと、池というよりも、むしろ湖と言ったほうがいいでしょう。

その他の文型・表現

(1) ～にとって(は)

(※人によって考え方、感じ方が違う時に、それぞれの立場について説明する)

1. ほかに人にとっては重要でないことでも、私にとっては重要なことです。
2. 入院していた私にとって、友人のお見舞は何よりもうれしいことだった。
3. 彼にとってこんなテストは何でもないことだった。目標はもっと高いところにあった。

注)「～として」はどんな立場・資格・種類かを示す表現。「～にとって」とは使い方が違う。

4. 山田さんは今は作家として活躍している。
5. 「ちょっと…」はやわらかく断る表現として使われる。

(2) <動詞た形>ものだ → ★L.9「～ものだ」(真理、当然)

(※過去の習慣を思い出して述べる時。懐かしいという気持ちを表現する)

1. 子供のころ、よく近くの川で泳いだものです。その川は今は汚くて泳げなくなりました。
2. 小学生のころ、父と一緒に山にきのこを採りに行ったものです。
3. 中学生のころ、近くの野原で友達と一緒に野球をしたものだ。その場所には今はマンションが建っている。

(3) ～も・・・ば、～も・・・

(※「～も・・・し、～も・・・」を使うことができるが、<いろいろある/する、何もない/しない>ことを強調する)

1. 世の中にはいいこともあれば、悪いこともある。
2. 山田さんは歌も歌えば、ギターも弾く。
3. この町にはデパートもなければ、スーパーもない。

(4) 『かえって』 (※普通の予想とは反対の結果になる)

1. 病院に行ったら、かえって悪くなった。
2. うちの子は「しなさい」と言うのと、かえってしないから、何も言わないほうがいい。
3. 説明してもらったら、かえって分からなくなってしまった。

第11課 比較(2) いろいろな選択

■ 文型・表現練習

(1) ましだ

1. テニスもゴルフも上手ではないが、_____。
2. 今のアパートも狭いけど、_____よりはましだ。
3. これは_____けれど、何もないよりはましだ。
4. 姉が作る料理はひどい。_____くらいなら、何も食べないほうがましだ。

(2) ～ほど・・・はない

1. 富士山ほど形が_____はありません。
2. 人間が発明したものの中で_____ほどすばらしいものはない。
3. _____ことほどつらいことはない。

(3) ～というより、むしろ・・・

1. ケンさんは体が大きいというより、むしろ_____と言ったほうがいいんじゃないかな。もっと運動したほうがいいと思う。
2. _____は便利なものというより、むしろ生活の一部になっていると思う。

(4) ～にとって(は)／～として

1. 私にとって、_____はとても大切なものだ。
2. _____にとっては、食事中に近くでたばこを吸われるといやなものだ。
3. _____は_____としてよく知られている。
4. テストの問題文では、「(A)に入る言葉として、最も_____を、下の(1)～(4)から1つ選びなさい」という表現がよく使われる。

第11課 比較(2) いろいろな選択

(5) <動詞た形>ものだ

1. 子供のころ、_____好きだったので、よく_____ものだ。
2. 学生のころ、_____て、よく先生にしかられたものです。
あの先生は今はどこにいらっしゃるのでしょうか。
3. 今と違って、私たちが子供のころは、_____。

(6) ~も・・・ば、~も・・・

1. 世の中にはいろいろな人がいる。 _____。
2. 佐藤さんの家はすごい。 _____。

(7) かえって

1. A「やせるために運動を始めたら、かえって_____」
B「それはよく食べるようになったからじゃないですか」
2. 忙しい時のほうがかえって_____。
暇だとのんびりしてしまってあまりできないものだ。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『すばらしい人』:「~ほど~ない」を使ってあなたがすばらしい人だと思う人について書きましょう。
- ・ 『大切なもの』: あなたにとって大切なものを書きましょう。
- ・ 『思い出』:「~たものだ」を使ってあなたの子供のころの思い出を書きましょう。
- ・ 『決め方』: あなたはどれにするか迷ったときはどうやって決めていますか。

第12課

第11課 比較(2) いろいろな選択

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 人の^{いっしょう}一生に関連する単語

- ・生まれる、誕生する、誕生日、生年月日、故郷／ふるさと
- ・育つ、成長(する)
- ・入学(する)、卒業(する)、入学式、卒業式
- ・成人(する)、成人式
- ・就職(する)、入社(する)、入社式
- ・出会う、お見合い(する)、付き合う、結婚する、結婚式、
- ・出産(する)
- ・別れる、離婚(する)
- ・出世(する)、昇進(する)、首になる、転職(する)
- ・定年、退職(する)、第二の人生を始める
- ・老後を楽しむ
- ・死ぬ、死亡(する)、葬式

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え	1	2	3	4
----	---	---	---	---